

# Cisco Secure Firewall Management CenterおよびSecure Firewall Threat Defenseソフトウェアのパストラバーサル脆弱性



アドバイザリーID : cisco-sa-ftdfmc-dir-trav- [CVE-2026-wERgjhWq](#) [20018](#)

初公開日 : 2026-03-04 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [5.9](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCwg56017](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Secure Firewall Management Center(FMC)ソフトウェアおよびCisco Secure Firewall Threat Defense(FTD)ソフトウェアのsftunnel機能の脆弱性により、管理者権限を持つ認証されたリモートの攻撃者が、基盤となるオペレーティングシステムでルートとして任意のファイルを書き込める可能性があります。

この脆弱性は、ファイル同期中のディレクトリパスの検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、予期されるファイルの場所の外部にディレクトリパスを作成することにより、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は基盤となるオペレーティングシステム上で任意のファイルを作成または置き換えることができます。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-ftdfmc-dir-trav-wERgjhWq>

このアドバイザリーは、2026年3月に公開された『Cisco Secure Firewall ASA、Secure FMC、およびSecure FTDソフトウェアセキュリティアドバイザリーバンドル』の一部です。アドバイザリーとリンクの一覧については、『[Cisco Event Response: March 2026 Semiannual Cisco Secure Firewall ASA, Secure FMC, and Secure FTD Software Security Advisory Bundled Publication](#)』を参照してください。

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

公開時点で、シスコデバイスが脆弱性のあるCisco Secure FMCソフトウェアまたはSecure FTDソフトウェアのリリースを実行している場合、デバイスの設定に関係なく、この脆弱性の影響を受けました。

脆弱性が存在する Cisco ソフトウェアリリースについては、このアドバイザリの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。

### 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクション](#)にリストされている製品だけがこの脆弱性の影響を受けることが知られています。

シスコは、この脆弱性がCisco Secure Firewall Adaptive Security Appliance(ASA)ソフトウェアには影響を与えないことを確認しました。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコでは、回避策や緩和策（該当する場合）は、修正済みソフトウェアリリースへのアップグレードが利用可能になるまでの一時的な解決策であると考えています。この脆弱性を完全に修正し、本アドバイザリに記載されているような将来のリスクを回避するために、シスコでは、本アドバイザリに記載されている修正済みソフトウェアにアップグレードすることを強く推奨します。

## Cisco Secure Firewall ASA、Cisco Secure FMC、Cisco Secure FTD の各ソフトウェア

お客様が Cisco Secure Firewall ASA、Cisco Secure FMC、Cisco Secure FTD の各ソフトウェアにおける脆弱性のリスクの有無を判断できるように、シスコは [Cisco Software Checker](#) を提供しています。このツールを使うことで、特定のソフトウェアリリースに関連するすべてのシスコセキュリティアドバイザリを検索でき、それぞれのアドバイザリで言及された脆弱性を修正した最初のリリース（「First Fixed」）を特定できます。また、該当する場合には、Software Checker により判別されたすべてのアドバイザリに記載のすべての脆弱性が修正された最初のリリース（「Combined First Fixed」）を特定できます。

このツールを使用するには、「[Cisco Software Checker](#)」ページの手順に従います。または、次のフォームを使用して、特定のソフトウェアリリースに影響を及ぼす脆弱性を検索します。この

フォームを使用するには、次の手順に従います。

1. ツールで検索するアドバイザリを選択します。すべてのアドバイザリ、[セキュリティへの影響の評価 \(SIR\)](#) が「重大」または「高」のアドバイザリのみ、またはこのアドバイザリのみを選択します。
2. 該当するソフトウェアを選択します。
3. 該当するプラットフォームを選択します。
4. リリース番号を入力します。たとえば、Cisco Secure Firewall ASA ソフトウェアの場合は 9.20.3.4、Cisco Secure FTD ソフトウェアの場合は 7.4.2 と入力します。
5. [チェック ( Check ) ] をクリックします。

2		Critical,High,Medium
このアドバイザリのみ	Cisco ASA ソフトウェア	
あらゆるプラットフォーム		
Enter release number	Check	

Cisco Secure FTD デバイスのアップグレード手順については、該当の [Cisco Secure FMC アップグレードガイド](#) を参照してください。

## 関連情報

最適な Cisco Secure Firewall ASA、Cisco Secure FMC、Cisco Secure FTD の各ソフトウェアリリースの決定方法については、次の推奨リリースに関するドキュメントを参照してください。セキュリティ アドバイザリでより新しいリリースが推奨されている場合は、そのアドバイザリのガイダンスに従うことをお勧めします。

[Cisco Secure Firewall ASA の互換性](#)

[Cisco Secure Firewall ASA アップグレードガイド](#)

[Cisco Secure Firewall Threat Defense 互換性ガイド](#)

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

## 出典

この脆弱性は、Cisco Advanced Security Initiatives Group(ASIG)のKyle Ossinger氏による社内セキュリティテストで発見されました。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-ftdfmc-dir->

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2026年3月4日

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。